



# 令和7年度 伊達市集落支援員 3年目の活動報告

令和7年12月15日（月）地域おこし活動報告会にて

伊達市集落支援員 梁川地域担当 山田 昭彦





# 3年計画で「地域のみなさんとのつながり」を目標に活動しました！

## 1年目（令和5年5月～） 自治組織関係者とのつながりを目標

自治会長様・自治会役員・交流館長様・交流館関係者 など

## 2年目（令和6年5月～） 町内会・各種担当者とのつながりを目標

町内会長様・町内会役員・児童委員・民生委員の皆さん など

## 3年目（令和7年5月～）

## 住民のみなさんとのつながりを目標に活動！

ご縁に感謝！



# なぜ、改めて住民のみなさんとのつながりを目標としたのか？



これまで、あらゆる会議に出席させて頂きました。その多くは、自治組織・町内会長・委員・担当者などの会議でした。

多くのことを学びましたが…

改めて振り返ると…

地域行事には参加している！  
皆さんと挨拶はしているが…

日常生活の会話をすることが  
あまりなかったかも…

地域の役職・担当者とは、  
要望や課題の話はしているが。

地域の役職・担当者と  
地域住民のみなさんの  
要望や課題は一緒なのか？  
梁川総合支所としても  
現場の声を聴きたい…と。



## 五十沢地区 柴崎お茶のみ会（サロン）への出前講座



### 令和元年の水害時には集会所が避難所として使用

設備的にも充実（室内・外に手すり・入口にスロープ設置）

近所の知り合い同士での避難で安心感も得られた。

消防団も屯所ではなく集会所を待機場所とした。

（+ 加えて）

今年エアコン完備（夏場も休まず週 1 回サロン実施）😊✨

- ① 身近な通いの場である【集会所】は、元気に過ごすための交流の場だけでなく【命を守る場所】と再認識。
- ② 施設の充実は重要ではあるが全集会所の整備は困難。だからこそ、地区交流館の機能が必要。
- ③ しかし、交流館まで通えない・いざと言う時に遠い…。どのような時に交流館が活かされるのか？

地区交流館 ⇄ 集会所 それぞれ出来ること・役割をもう一度見直しを。 「上手く2つの施設を活用することが大切」 と実感

## 山舟生9区（日面9区）芋煮会&地域づくり講話の依頼



「集落支援員と言うのがいるらしいぞ！」 😊✨

コロナ後、久しぶりの芋煮会。せっかく皆が集まるのに、ただ飲食だけで済ますのはもったいない。

「今後の町内会について話し合う場を設けてはどうか」…と町内会長様。

「誰か話してくれる人はいないか？」と役員で相談中に、上のような発言が。

【元気に楽しい人生を】として講話。 40名のみなさんが参加！

- ① 「●●したいと考えている、相談したい。」と地域から声がかかること、こそ理想 ✨ = 住民のみなさんの主体性
- ② 班長がチラシを配布、独居の男性に「ぜひ参加を！」と声をかけ、当日笑顔で参加あり！ = すでに支え合いが確立！
- ③ 芋煮会の最中も、個別で「●●だけど、どうしたら良いか」と相談あり。= 他部署につなぐことも出来る

3年経過して…【集落支援員として認知度が向上したか】 このような役割が 集落を支援するということ ではないでしょうか。



今では桑折町からの視察を受けるほど！ 😊 ✨

桑折町でチームオレンジを検討している地域のみなさん・社協・包括職員  
の方が訪問され、運営に関しての情報共有を行いました。

塩野川町内会の活動が他へのお手本に！

- ① 住民のみなさんが「普段、いつものように行っていること」は…実は、視察対象になるほどの素晴らしい取り組み
- ② それを是非自慢して欲しい！他の町内会にも伝えて欲しい！…良き取り組みは町内会同士お互いに参考にして欲しい！
- ③ 地域のみなさんが「自分たちが行っている活動を自慢出できる場があったら」…楽しいと思いませんか！

**【自慢できる発表の場】** これから作りませんか！ 年に一度開催する本当の発表会（発表者）は…主役である住民のみなさん！



## 4 町内会合同認知症カフェ その名も サロンSUMU



参加者数（出演者・運営者含め）

清水町（S） 😊 ✨

昨年（第1回目）43名

内 町（U） 😊 ✨

今年（第2回目）51名！！

元陣内（M） 😊 ✨

近隣町内会同士で

右城町（U） 😊 ✨

「支え合い・協力し合いながら取り組もう！」

と声を挙げて頂いた町内会長様に感謝！

- ① このようなつながる方法を見つけて頂いたのは…他でもない4 町内会に携わっている町内会長のみなさん！
- ② 終わった後は「町内会長だより」にカフェの記事を掲載し、各町内会長様に配布・促進もしていただけたよう！
- ③ 携わった町内会長様、他のみなさんも含め「住民のみなさん自身がまるで支援員ではありませんか！（笑）」

その場所（地区・町内・ご近所）を一番良く知っているのは…「そこに住んでいるみなさんです！」 住民が支援員になるのもあり！？



住民のみなさんに「やらされ感」を持たせてはいけない。

地域課題への解決は 😊 ✨

- ・住民の皆さんによる主体性
- ・あえて「断る勇気」を持つことも必要
- ・「今すぐ」と結果を焦らず定期的な話し合いの場を創出していく。

このページの記載は  
すべて  
都路町の皆さんより

- ① 日常の生活、その人の生きがいを見守り、支える必要性を認識 「心の問題はすぐには解決できない」
- ② 同じ地域に住んでいる住民ほど細やかな情報を持っている人はいない。【結の精神】は存在している！
- ③ 5年後、10年後 「この地域をどうしていきたいか」と、考えている人／考えようとしている人がどれくらいいるか、が課題

公的サービスのみに頼るのではなく、様々な団体が横断的に地域を支えていく一員になり、

住民同士が支え合っていける地域にするにはどうするべきか、探っていく…のが都路町の今後の課題

※これは伊達市も同じことですね。



# 3年間の目標「地域みなさんとのつながり」 → 目的「地域のお宝発見！」

生活支援コーディネーター養成ZOOMオンライン研修に参加して

## 「コロナ」によって何が起こったか？

地域活動の休止が長期化 コロナが蔓延し始めてから、介護認定率・認知症出現率が全国的に増加

外出頻度が減る → 社会性の低下 → 運動機能の低下

社会参加している人はうつ病のリスクが7分の1に減少

社会参加している人は、生活満足度や自尊心が高く、精神的健康状態が良いことが多くの研究で明らかにされている。

特に、男性でうつ病の発症を著しく抑制することが分かった。

介護予防の効果高めるには地域活動の後押しが必要

幸せの定義は、他人からの「ありがとう！」 【出来ないこと】の支援から → 【出来ること】の応援

「課題」にばかり気を取られていると 【地域のお宝】 に気づけない

お宝とは…（今、あるもの・現在出来ていること）

気にかける関係が、孤独・孤立の防止につながっている！

今日お話しした  
それぞれの地域活動  
全部「お宝」です！

## 地域づくりのポイント ～【地域づくり】の入口は「楽しい」 → 出口は「つながり」～

### 1 : 【楽しいから参加するし、継続する！】

- ➡課題探しから始めない。楽しいことの中に課題解決も散りばめられている。
- 住民は楽しいから集う（参加する）／そこには、一緒に楽しむ仲間がいる。

### 2 : 「専門職も、暮らしにまぜてもらおう」

- ➡住民の気かけ合う関係を壊さない。住民を巻き込むのではなく、住民に巻き込まれる。

### 3 : 「住民だけでなく専門職も楽しくないと続かない！」

- ➡専門職が楽しめないものは、住民も楽しくない。課題探しは行き詰まる。

### 4 : 「住民のできることは奪わない。じっくり待つ」

- ➡急かせない。急かすと、どうしたら良いかを専門職に委ねることにつながる。

### 5 : 「主役は住民…でないといけない」

- ➡主体はその地域に暮らす住民。
- ＜ある事例の報告＞ 専門職が訪問した時に、聞こえてきた住民の声  
「行政や社協、包括の人がニコニコしながら地域にやってくたら危ないと思え！  
また何かやらされるぞ！」と言われたそう。（苦笑）

交流館にせよ、集会所にせよ  
これからの地域活動は

集まる（集める）場



「つながる場」と言う視点の見てみよう！



これからの国（社会）の最大の課題

孤立・孤独の「予防」



地域活動を紹介！

【山田集落支援員が贈る 笑顔になるチラシ】 絶賛発行中！

添付資料参照下さい！

## 【2025年秋 活力ある梁川 活動紹介 ●●地区 】

と題して、梁川地域全8地区の「秋の行事」の様子を作成・投稿しました！

伊達市公式SNSとして ①Facebook ②Twitter ③LINE ④公式アプリ「だてなび」

伊達市市民活動支援センターとして ①Facebook ②Twitter ③LINE「あつまれ！だてな活動」 ④HPにも

「形として残し、地区内外に広くPR活動をする」 そして、その地区の皆さんに

「行事を開催している事への自信と誇り、やりがいや前向きな気持ちを持ってもらいたい」 と言う思いがあったからです。

全国各地から【いいね！】を頂いています！皆さんもぜひ登録して伊達市の情報をGETして下さいね！

結 果！

住民のみなさんとのつながりを目指して感じたこと・大切なこと

「出来るだけ 頼らずに 自分たちで がんばろう…。」

やれることは やろう。 いけるところまで いこう。」

～自分たちの生活を一生懸命守り、生きていこう。と言う思いがあふれているのを感じました～

大きな範囲のことではなく、「身近なところ」「隣近所」の生活の維持・支え合いを考えているのです。

その思いがいくつか集まって地域が作られています。だからこそ、

集落支援員の役割は…【小さな声に耳を傾けること】 【丁寧に会話・対話を続けること】が大切である、と痛感。





**4年目（令和8年5月～）も活動したいと思っています！ どうぞよろしくお願いします！**

**そのために、みなさん！ 地域のお宝をぜひ教えて下さい！**



**私たちの活動を！**



**見て欲しい！**



**話を聞いて欲しい！**



**一緒にお宝を！**



**盛り上げて欲しい！**

**みなさんの活動 すべてが地域のお宝です！**

**どうぞ自信を持って集落支援員にお声をかけて下さい！ 見学させて下さい！ 取材させて下さい！**

**そして せっかく取材した みなさんのお宝を生かし…**



来年度、僕と一緒に…

## 【地域のお宝発表会！ ✨】 開催してみませんか！？ 😊

- ★ みなさんの活動は… 伊達市を支える **【地域のお宝活動】** です！ 自信と誇りを持って！
- ★ みなさんの活動を… 発表し **【自慢】** して **【活動のPR】** をしてみませんか！
- ★ みなさんの活動が… 誰かの **【参考】** になり、それが他の地域の **【活性化】** にもつながります！
- ★ みなさんの活動で… 他の地域との **【交流の場】** が生まれます！
- ★ みなさんの活動は… 地域をよく知っている一番身近な **【支援活動】** となるのです！

✨ 地域を支える 大切な みなさんの活動 これからも ぜひ ご紹介させて下さい！ ✨



ご清聴ありがとうございました。